

平成30年度 佐賀県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）プログラム 1日目

	講義名	内 容	講 師（敬称略）
9:30～	受付		
10:00～10:30 講義0.5H	プロローグ ～強度行動障害のある人についての基本的な理解～	強度行動障害とは 行動障害のある人への支援のこれまで 行動障害のある人が困っていること 行動障害への挑戦の意義と必要性	社会福祉法人はる 福島 龍三郎
10:30～11:30 講義1.0H	医療と一緒に ～福祉と医療の連携～	行動障害と医学的な診断 行動障害と医療的アプローチ 福祉と医療の連携	国立病院機構 肥前精神医療センター 會田 千重
11:30～12:30	昼休み		
12:30～13:30 演習1.0H	私たちが困っていること ～感覚の違いを体験しよう～	演習「作業（視覚的な手がかりがない場合、ある場合）」 演習「作業（軍手をはめて）」 演習「騒がしい環境での聞き取り」 演習「狭い視野での活動」	社会福祉法人はる 三城 眞貴枝
13:30～14:30 演習1.0H	わかりにくいんです ～伝わりにくさを体験しよう～	演習「意味の分からない言葉での指示」 演習「視覚と聴覚で違う情報」 演習「わかりにくい提示」 グループ討議／まとめ	
14:30～14:40	休憩		
14:40～15:40 講義1.0H	私たちのことを知ってほしい ～強度行動障害に関係する障害について～	自閉症スペクトラム障害について 知的障害／精神障害について	社会福祉法人はる 福島 龍三郎
15:40～16:40 講義1.0H	ボくらと世界のつながり方 ～環境を整えることの大切さ～	支援に必要な環境整備・環境調整 構造化の基本と手法	社会福祉法人はる 福島 龍三郎
16:40～17:10 演習0.5H	知ることから始めよう ～根拠を持って支援する～	演習「アセスメント」	社会福祉法人はる 三城 眞貴枝

平成29年度 佐賀県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）プログラム 2日目

	講義名	内 容	講 師（敬称略）
9:00～10:30 演習1.5H	本当の理由を考えよう ～冰山モデルで考える～	演習「冰山モデル」	社会福祉法人はる 三城 眞貴枝
10:30～10:40	休憩		
10:40～12:10 演習1.5H	本人にわかりやすい環境と活動 ～支援手順書を使って～	演習「本人に伝わりやすい環境と活動」	社会福祉法人はる 三城 眞貴枝
12:10～13:00	昼休み		
13:00～13:30 講義0.5H	みんなでやろうよ ～支援のプロセスと チームプレイの大切さ～	支援の基本的枠組み	社会福祉法人はる 福島 龍三郎
		サービス等利用計画について～支援の基本的プロセス～	
		個別支援計画と支援手順書について	
		記録と情報共有	
13:30～14:00 演習0.5H	お互いに共有しよう ～記録と情報共有～	演習④「記録と情報共有」	社会福祉法人はる 三城 眞貴枝
14:00～14:30 講義0.5H	そのとき、あなたは どうしますか ～障害者虐待、身体拘束、行動制限の 防止は支援の向上から～	障害者虐待防止法とは	佐賀地区障がい者 権利支援センター 村岡 智紀
		行動障害と虐待	
		虐待をしない・させないために	
14:30～15:00 講義0.5H	支える仕組み ～制度理解のヒント～	行動障害のある人を支える制度	佐賀県障害福祉課
15:00～15:10	休憩		
15:10～16:10 講義1.0H	支援の現場から ～事例紹介～	児童期における支援の実際	療育サポートセンタークレア
		成人期における支援の実際	NPO法人それいゆ
16:10～17:10 講義1.0H	ひとりで悩まないで ～支援者ケアの大切さ～	援助することと感情労働	社会福祉法人はる 福島 龍三郎
		援助者のストレスケアの方法	

*都合により、プログラムや講師が変更となる場合がございます。ご了承ください。